

新・こどもと健康

No.5

2017.2.1

3月4日(土)診察終了後にワクチンの時間を作ります。

当科では予防接種を水曜日13時半からの専用時間帯と、診察時間内に行っておりますが、日本医師会が提唱する『子ども予防接種週間』として協力要請があったこともあり、3月4日(土)診察時間終了後に少し予防接種の時間を作らせていただきます。予防接種はいずれの時間帯も予約になっておりますので、お電話や受付でご予約ください。

年長さん、MRワクチン済みましたか？

麻しん風しんワクチン(MRワクチン)は2回打つタイミングがあり、第1期が1歳児、第2期が小学校就学前の1年間です。第1期も期限がありますが、第2期は3月31日までに終わらないといけません(入学式までではないですよ!)。定期接種期間内に打たないと、任意接種で自費になります。期限が迫って希望者が集中されますと、ワクチンが足りないということになりかねませんので、なるべく早く確認してください。

日本脳炎第2期(9歳以上)

二種混合ワクチン(11歳以上13歳未満)を受けましたか？

母子手帳を拝見していると、5歳位以上のお子さんで、下記のワクチンが記載されていない母子手帳が流通しています。未接種でないか確認してください。

①日本脳炎の第2期と、②二種混合(DT=ジフテリアと破傷風)ワクチンです。①については積極的勧奨をしていない時期がありましたので、現在救済措置がどうなっているか、書かせていただきます。②は11歳以上13歳未満です。ちなみに②がスタートしたのは平成6年(1994)年10月でした。

日本脳炎ワクチンについて

平成17(2005)年5月30日に日本脳炎ワクチンの積極的勧奨が差し控えになりました。製造方法を変更した日本脳炎ワクチンが平成21(2009)年6月2日から接種できるようになり、平成22(2010)年4月1日から3歳になる児について勧奨を再開し、順次年齢層を拡大してきました。

日本脳炎ワクチンの定期接種としましては、

- 第1期: 生後6か月以上90か月未満の者
 標準的には第1期初回は3歳以上4歳未満(=1回目と2回目)
 第1期追加は4歳以上5歳未満(=3回目)
 第2期: 9歳以上13歳未満の者(=4回目)

ですが、接種の機会を逸していた方々に下記のような救済措置が取られています。

日本脳炎ワクチンの救済措置

平成7年4月2日から平成19年4月1日生の方(特例対象者)

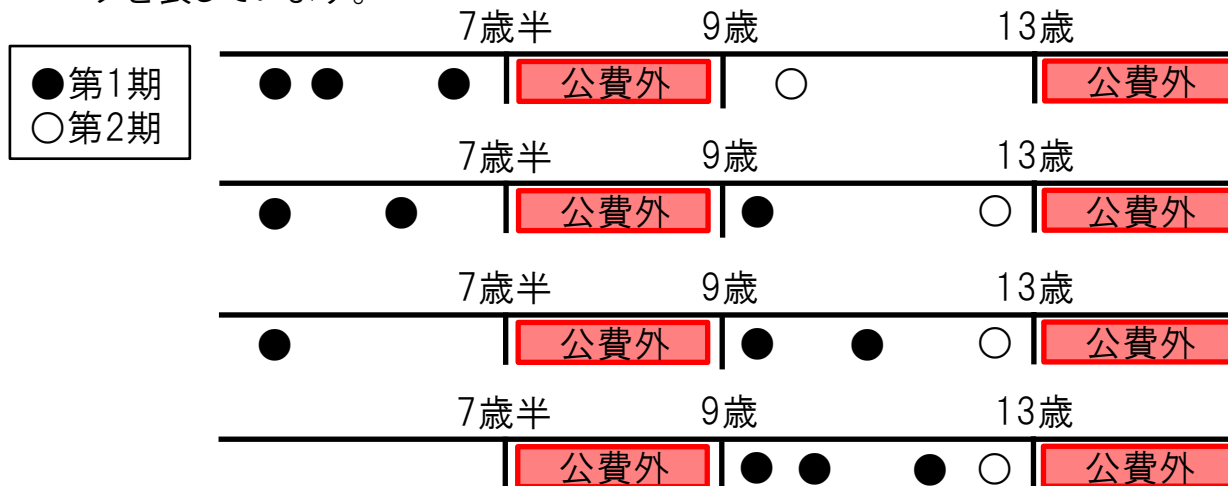
20歳未満まで、時間が許す限り、1回目から公費で受けられます。

対象者の接種歴	その後の接種方法
第1期のうち、3回受けた方	・4回目を9歳以上で接種し、3回目との接種間隔は6日以上あける(できれば5~10年あける)
第1期のうち、2回受けた方	・まず、3回目を接種する。 ・4回目は9歳以上で接種し、3回目との接種間隔は6日以上あける(できれば5~10年あける)
第1期のうち、1回受けた方	・2回目と3回目を6日以上の間隔をあけて接種する。 ・4回目は9歳以上で接種し、3回目との接種間隔は6日以上あける(できれば5~10年あける)
第1期を全く受けていない方	・6日以上(標準的には6~28日)の間隔をおいて2回、2回目接種からおおむね1年後に3回目を接種する ・4回目は9歳以上で接種し、3回目との接種間隔は6日以上あける(できれば5~10年あける)

平成19年4月2日から平成21年10月1日生の方

(予防接種実施規則 附則第4条に基づく対象者)

7歳半未満あるいは9歳以上13歳未満の間に、時間が許す限り、第1期(3回)の不足分を定期接種として接種できます。逆にいえば、7歳半以上9歳未満の間は公費では接種できません。以下はありうる接種するタイミングを表しています。



具体的な日程は、個々に相談させていただきます。